

心エコー室で検査を受けた患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、北大病院において、通常の診療で得られた過去の診療記録や検査結果を分析することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得る代わりに、研究内容の情報を公開し患者さんが拒否できる機会を保障することが必要とされております。この研究に関して、研究計画や関係する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 心不全による肝・腎機能障害の機序に関する検討

[研究機関・長の氏名] 北海道大学病院 寶金 清博
北海道大学大学院保健科学研究院 伊達 広行

[実施責任者] 岡田 一範 (保健科学研究院・助教)

[研究の目的]

心不全は、それによる低心拍出と全身のうっ血により、心臓以外の臓器にも障害をもたらす可能性があります。実際に、心不全患者さんにおいて、肝障害や腎障害を併発し得ることはよく知られていますが、それが低心拍出によるものなのか、全身のうっ血によるものなのかは、よくわかっていません。そこで、私たちは、北大病院循環器内科に心不全のために入院した患者さんの検査結果を詳しく調べ直すことにより、心不全に合併する他の臓器障害が、低心拍出とうっ血のいずれによってきたされるのかを、より明確にしたいと考えました。その成果は、心不全患者さんのより正確な病態把握と、全身合併症の予防に役立てたいと考えております。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2014年1月から2016年9月までの間に、北海道大学病院に入院し、その間心エコー検査と血液生化学的検査が近接して行われている心不全患者さん（目標200例）。

●利用する診断情報

年齢、性別、診断名、病歴、身体所見、検査所見（とくに血液検査と心エコー検査）および治療内容

[個人情報の取り扱い]

本研究にあたっては、患者さんの個人情報保護に十分配慮します。研究担当者が北大病院内で診療記録や心エコー検査結果（画像を含む）を収集した後は、お名前、ご住所を始め、患者さんを特定できる情報を一切削除した上で研究を進めます。また、研究成果

を学会や学術雑誌などに発表する予定ですが、その際、患者さんの個人情報には一切触れることはありません。

*上記の研究に検査結果を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

札幌市北区北 12 条西 5 丁目

北海道大学保健科学研究院・助教 岡田 一範（実施責任者）

電話 011-706-3730, FAX 011-706-3730